

減量推進員ニュース



発行:茨木市 産業環境部 資源循環課

TEL:072-620-1814 FAX:072-627-0289 E-mail:shigenjunkan@city.ibaraki.lg.jp



紹介

HOYA株式会社アイケアカンパニーと協定を締結しました！



茨木市は、プラスチック廃棄物の減量と再資源化を推進するため、「コンタクトのアイシティ」を運営するHOYA株式会社アイケアカンパニーと「使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定」を令和4年9月9日に締結しました。

10月からは、同社が提供する「アイシティ eco プロジェクト」の一環として、市役所南館3階の資源循環課窓口に回収ボックスを設置し、市役所内でも使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収を始めました。

回収されたケースは、リサイクル工場で粉碎・加工され、再資源化された材料は様々な製品に生まれ変わります。



市役所内に設置した回収ボックス

【回収場所】

茨木市役所 南館3階25番 資源循環課窓口

※アイシティ各店舗でも回収しています。

市内店舗

アイシティ イオンモール茨木店

(茨木市松ヶ本町8-30 イオンモール茨木 3階)

※購入した店舗やメーカーを問わず、回収しています。

【回収ボックスに入れる際の注意事項】

アルミシールを完全に取り除き、回収ボックスへ入れてください。



使い捨てレンズ空ケース回収にご協力ください！

どこのメーカーの空ケースでもOK! アイシティ以外でのご購入商品もOK!

全国のコンタクトのアイシティ店頭でお客様から使い捨てレンズ空ケースを回収し、リサイクル工場で再資源化します。その対価を(公財)日本アイバンク協会に寄付し、視力を再び取り戻したいと願う方々のために役立てます。

※お願い アルミシールは完全にはがしてお持ちください。



アルミシール、レンズの残りが無く空ケースのみの状態



コンタクトレンズの分別方法

レンズや容器は、流しやトイレに処分しないでください。自治体のゴミの分別ルールに従いましょう。

使い捨てコンタクトレンズの処分方法



アイシティ ecoプロジェクトは、環境省の実施する「プラスチック・スマート」に参画しています。

詳しくはこちら



※メーカーやレンズの種類により一部素材が違うことがあります。※本例は一例です。必ず各自治体のゴミの分別について確認を行ってから、処分してください。



コンタクトのアイシティ

お知らせ

令和4年度 再生資源集団回収報奨金制度の報奨金申請書の受付中です！

提出期限：1/31(火)

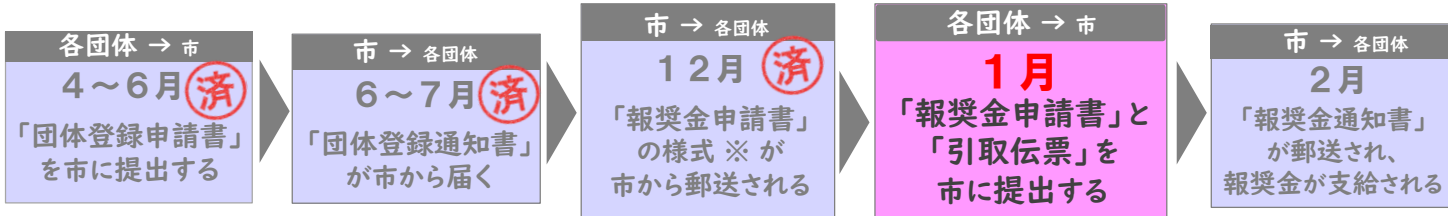


現在、資源循環課では再生資源集団回収報奨金制度の報奨金申請書を受付しております。令和4年度の提出期限は令和5年1月31日(火)までとなっております。



▼再生資源集団回収報奨金が支給されるまで

現在受付中



報奨金申請書の様式(※)は今年度登録のあった団体の代表者(登録申請書の代表者の欄に記載のある方)宛に12/1付けて郵送しています。

推進員の皆さまがお住まいの地域で、この制度に登録している団体がある場合は、必ず1/31までに報奨金申請書を提出いただくよう代表者の方にお声かけをお願いします。



再生資源集団回収報奨金制度とは…

集団回収とは…市が実施している資源物回収とは別に、住民団体が古紙、空き缶等を自主的に集め、回収業者に引き渡す活動です。

- 1 制度の概要**
資源物の集団回収を行う団体に対して、報奨金を支給する制度です。
- 2 制度の対象団体**
次のすべての要件をみたら対象となります。
 - ①市内の地域住民で構成する営利を目的としない団体(自治会、子ども会、婦人会、老人会など)
 - ②定期的に再生資源の回収を行い、自ら再生資源回収業者へ売却処分していること
 - ③再生資源の年間回収数(1月から12月まで)が6回以上あり、かつ、年間回収量が1トン以上であること
- 3 金額と支給方法**
 - ・金額は、基本額20,000円に、回収実績1トンにつき1,500円を加えた合計(上限75,000円)となります。
 - ・支給方法は、団体名義の金融機関口座への振込みとなります。



報告 令和4年度いばらき環境フェアを開催しました！

令和4年11月19日(土)、20日(日)の2日間に渡り、茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)にていばらき環境フェアを開催しました。

昨年度はWEB上での開催となりましたが、今年度は感染症対策を行ったうえで対面での開催となり、当日はたくさんの方にお越しいただきました。

環境フェアでは、ダンボールコンポスト講習会や、フードドライブ、エコカーの展示など様々な催しを行い、活気のあるイベントとなりました。



ダンボールコンポスト講習会の様子



フードドライブで集まった食料品の一部



エコカーと会場入口の様子